

政策3

歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

＜教育文化分野＞

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 01 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
幼児、18歳以下の青少年とその保護者、地域住民、学校	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが生き生きと安全に暮らしています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	学校・家庭・地域が連携し、地域で子どもが健全に育成されていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	43.7	46	48.8	➔
評価	(状況) 平成29年度は48.8%で、後期基準値より5.1ポイント、平成28年度より2.8ポイント増加しています。全世代で微増傾向にあり、特に20代及び30代で、平均5ポイント増加しています。 (原因) 学校・家庭・地域が連携した様々な協働教育の取組が浸透してきたことが要因と考えられます。								目標 達成度 ■■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

基本事業 02 放課後等の安全・安心な居場所づくり

基本事業 03 家庭教育力の向上

基本事業 04 青少年の健全育成

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

指標①	学校支援地域本部の設立により地域の力を活用している学校数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	校	7	10	10	10
評価	<p>(状況) 市内小中学校10校全てで事業を実施しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 教職員を対象とした研修会の開催や、他の学校の取組事例や事業効果等を共有し、事業の意義が正しく理解されてきたことにより、地域住民の参画で多様な事業を実施することが可能となりました。</p>								目標 達成度
									☀ (達成)

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

指標②	学校支援事業件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	件/年	36	64	90	55
評価	<p>(状況) 平成29年度は90件で、後期基準値より54件、平成28年度より26件増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 学校の状況を確認しながら、子どもたちのよりよい教育環境構築のため、学校・家庭・地域が連携した幅広い事業を実施しています。また取り組んだ事業について評価・検証し、効果の高い事例を各学校で共有しながら新たな取組を増やしていることが要因と考えられます。</p>								目標 達成度
									☀ (達成)

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

指標③	学校・地域が連携する活動の延べ協力者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	4,525	8,505	9,211	7,800
評価	<p>(状況) 平成29年度は9,211人で、後期基準値より4,686人、平成28年度より706人増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 学校支援地域本部事業の取組が定着してきたことが要因と考えられます。学校支援地域本部事業については、教職員の研修や効果の高い事例を各学校で共有しながら、新たな取組を増やしているところです。</p>								目標 達成度
									☀ (達成)

基本事業02 放課後等の安全・安心な居場所づくり

指標①	放課後の安全な子どもの居場所・遊び場があると思う保護者割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	39.4	47.5	42.8	➔
評価	<p>小学生の子どもを持つ保護者が対象</p> <p>(状況) 平成29年度は42.8%で、平成28年度より4.7ポイント減少しているものの、後期基準値より3.4ポイント増加しています。 (原因) 放課後子ども教室の取組みが定着してきたことや、復旧・復興事業の進展に伴う物理的な環境整備が要因と考えられます。</p>								目標 達成度
									☀ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 家庭教育力の向上

指標 ①	基本的生活習慣の自分の子どもの実践度（早寝、早起きほか）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	%	84.8	86.2	84.2	→	
評 価	全国学力・学習状況調査による指標です。									(横ばい)
	<p>(状況) 平成29年度は84.2%で、平成28年度より2.0ポイント減少していますが、ほぼ横ばいです。</p> <p>(原因) 保護者が集まる学校行事の機会を利用して、子育てに関する講座や研修会を開催し、家庭教育の重要性の理解及び実践を働きかけていることが、水準の維持に繋がっている要因と考えられます。</p>									目 標 達 成 度 (中)

基本事業04 青少年の健全育成

指標 ①	青少年育成活動事業の延べ参加者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	2,763	4,444	4,489	3,430	
評 価										(横ばい)
	<p>(状況) 平成29年度は4,489人で、後期基準値より1,726人、平成28年度より45人増加し、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 青少年育成事業、ジュニアリーダー活動など様々な活動事業のうち、特にジュニアリーダー活動延べ人数が増えています。ジュニアリーダーの活動を学校や地域に広く周知し知名度を上げるとともに、ジュニアリーダーの育成強化と家庭や地域、学校などで活動できるよう支援したことにより、派遣回数が増えたことが要因と考えられます。</p>									目 標 達 成 度 (達成)

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 02 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
児童・生徒、小中学生を持つ保護者、市内の公立学校に勤務する教職員、地域住民	児童・生徒が充実した学校生活を送っています。

施策の成果状況と評価

指標	学校生活が楽しいと思う児童割合（小学生）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき	
	成果	課独自調査	上がると良い							
①				学校教育課	%	88.7	89	89.8	→	☀ (横ばい)
評価	<p>(状況) 平成29年度は89.8%で、後期基準値より1.1ポイント、平成28年度より0.8ポイント増加しています。 (原因) 授業がわかると答える児童の割合、学校給食残食率ともに後期目標を達成していることの影響が大きいと考えられます。スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等の配置による相談体制充実の効果も表れていると考えられます。</p>								目標 達成度	
									■ (高)	
指標	学校生活が楽しいと思う生徒割合（中学生）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき	
	成果	課独自調査	上がると良い							
②				学校教育課	%	72.7	70	70.5	→	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 平成29年度は70.5%で、平成28年度より0.5ポイント増加しているものの、後期基準値より2.2ポイント減少しています。 (原因) 家庭状況、家庭環境問題といった対応を要する事象が増加していることが要因と考えられます。スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等の配置による生徒の再登校率と授業がわかると答える生徒割合の向上もあり、平成28年度以降は徐々に向上しています。</p>								目標 達成度	
									■ (中)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 郷土愛を育む教育の推進
基本事業 02 教育の質の向上
基本事業 03 健康づくりと食育の充実
基本事業 04 教育相談体制の充実
基本事業 05 安全・安心な教育環境の整備
基本事業 06 新たな時代に対応するための取組推進

基本事業01 郷土愛を育む教育の推進

指標①	多賀城の歴史・文化・まちについて学ぶ小学校3年生以上の授業数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	学校教育課	時数/年	708	776	865	720
評価	(状況) 平成29年度は865時数/年であり、後期基準値より157時数/年、平成28年度より89時数/年の増加で、各学校の取組も充実し、後期目標値を達成しています。 (原因) 地域の人材と素材を活用しながら、地域と連携した学習を日常的に取り入れ、積極的に推進したことが要因です。								

基本事業01 郷土愛を育む教育の推進

指標②	多賀城の歴史・文化・まちについて学ぶ中学校授業数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	学校教育課	時数/年	136	165	183	150
評価	(状況) 平成29年度は183時数/年であり、後期基準値より47時数/年、平成28年度より18時数/年の増加で、各学校の取組も充実し、後期目標値を達成しています。 (原因) 各校の授業研究の充実や研修会等地域に密着した学習を年度当初の計画に盛り込み、学習の機会を確保したことが要因です。								

基本事業02 教育の質の向上

指標①	授業がわかると答える児童割合 (小学生)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	学校教育課	%	86.6	90.8	91.1	→
評価	(状況) 平成29年度は91.1%で、後期基準値より4.5ポイント、平成28年度よりも0.3ポイント増加し、後期目標を達成すると共に、震災前の水準に回復しています。 (原因) 各校の授業研究の充実や研修会への積極的な参加などが要因と考えられます。基本的な生活習慣を身に付けて児童が落ち着いた生活を送れるような環境づくりへの持続的な取組も、要因の1つと考えられます。								

基本事業02 教育の質の向上

指標②	授業がわかると答える生徒割合 (中学生)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	学校教育課	%	66.8	77.6	76	→
評価	(状況) 平成29年度は76.0%で、平成28年度よりも1.6ポイント減少していますが、後期基準値より9.2ポイント増加しており、後期目標を達成しています。 (原因) 各校の授業研究の充実や研修会への積極的な参加などが要因と考えられます。基本的な生活習慣を身に付けて生徒が落ち着いた生活を送れるような環境づくりへの持続的な取組も、要因の1つと考えられます。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標①	基本的生活習慣を身につけている児童割合（小学生）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	学校教育課	%	86.1	87.5	84.6	➔
評価	<p>(状況) 平成29年度は84.6%で、後期水準より1.5ポイント、平成28年度より2.9ポイント減少しており、全体としては中程度の水準で横ばいです。 (原因) 日常生活での良い習慣を身に付けるための家庭教育や食育への取組が一定の効果を継続していると考えられます。「良い習慣」のひとつである「学校での出来事について話をする」児童の割合が食事や睡眠の項目における児童の割合より減少幅が大きいことが要因です。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標②	基本的生活習慣を身につけている生徒割合（中学生）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	学校教育課	%	83.4	84.9	83.8	➔
評価	<p>(状況) 平成29年度は83.8%で、平成28年度より1.1ポイント減少していますが、後期基準値より0.4ポイント増加しており、横ばいです。 (原因) 日常生活での良い習慣を身に付けるための家庭教育や食育への取組が一定の効果を継続していると考えられます。スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなど相談体制を整備したことも、要因のひとつと考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標③	学校給食残食率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	学校教育課	%	17.2	17.4	17	18
評価	<p>(状況) 平成29年度は17.0%で、後期基準値より0.2ポイント、平成28年度より0.4ポイント減少しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 給食センターに栄養教諭、栄養士が配置され、各学校での食育に関する指導が充実しています。「食育展」など一般市民に食育の重要性を啓発する取組も行っていることから、家庭でも意識が高まり、「残さず食べる」考えが深い理解を得ていると考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (達成)

基本事業04 教育相談体制の充実

指標④	不登校出現率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	学校教育課	%	1.81	2.02	2.11	1.3
評価	<p>(状況) 平成29年度は2.11%で、後期基準値より0.3ポイント、平成28年度より0.09ポイント増加となっています。 (原因) 各学校におけるきめ細かい対応やスクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーなどとの連携による取組による一定の効果は認められ、再登校に繋がる児童・生徒もいますが、それ以上に心のケアが必要な児童生徒の増加のスピードが速いと考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (低)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 教育相談体制の充実

指標②	再登校率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	学校教育課	%	35	36.4	36	40
評価	<p>(状況) 平成29年度は36.0%で、平成28年度より0.4ポイント減少しているものの、後期基準値より1.0ポイント増加しており、横ばいです。 (原因) 不登校児童生徒の支援体制を充実し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの活動が円滑に行われていることが要因です。</p>				<p>(%)</p>				目標達成度 ■■■ (中)

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標①	授業及び学校生活に支障をきたした不具合件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	件/年	0	0	0	0
評価	<p>(状況) 平成29年度も不具合件数が0件であり、後期目標値を達成しています。 (原因) 学校施設の維持管理に当たっては、定期的に施設設備の点検を行い、不具合発生前に修繕箇所を手当てするなど、きめ細かい対応を行った結果と考えられます。</p>				<p>(件/年)</p>				目標達成度 ■■■ (達成)

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標②	学校施設の改修棟数 (累計)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	教育総務課	棟	7	2	6	7
評価	<p>目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方) (状況) 平成29年度は、多賀城八幡小学校(屋内運動場)、山王小学校(エレベータ)、東豊中学校(柔剣道場)及び高崎中学校(柔剣道場)の4棟を実施し、累計6棟の改修が終了しています。 (原因) 教育環境の充実のため、多賀城市公共施設等総合管理計画に基づく改修が計画的にできていることが要因です。</p>				<p>(棟)</p>				目標達成度 ■■■ (高)

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標③	登下校時の事故・事件に巻き込まれた児童・生徒数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	学校教育課	人/年	45	15	9	0
評価	<p>(状況) 平成29年度は9人で、後期基準値より36人、平成28年度より6人減少しました。 (原因) 全国で凶悪事件が発生する中、関係機関との連携により、素早い対応を行っています。児童生徒への啓発活動や学校独自の取組、地域住民の協力による安全・安心な環境づくりが進んでいることが数値を低い水準に抑えられている要因と考えられます。</p>				<p>(人/年)</p>				目標達成度 ■■■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業06 新たな時代に対応するための取組推進

指標 ①	新たな時代への教育取組推進数（累計）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき	
		代替	業務取得	その他	学校教育課	件	6	6	8	8
評価	目標値は平成32年度までの累計(実績値も同様の考え方)									目標 達成度
	<p>(状況) 平成29年度は8件で、後期基準値及び平成28年度から2件増加し、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 平成29年度は、新たに学校適応アセスメント検査事業、ICT教育推進に取り組んだことが要因です。小学校理科支援事業、学習個別支援事業、特別支援教育支援事業は、取組を継続しています。平成29年度に中学校生活指導支援事業と心の教室相談事業を総合事業化して子どもの心のケアハウス運営事業を実施しています。学校図書館補助員配置事業は、平成28年度から市立図書館の事業として再編しています。</p>									

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 03 生涯学習の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民（学習をする立場、学習成果を還元する立場）	市民が知性と豊かな心を育むために、生涯学習活動を行っています。 市民が生涯学習の成果を地域や社会に生かしています。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習を行っている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
①	生涯学習課			%	-	63.3	66.4	➔	☀ (横ばい)
	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								
評価	<p>(状況) 平成29年度は66.4%で、平成27年度より1.9ポイント、平成28年度より3.1ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 健康・スポーツや芸術(音楽や美術など)の活動をしている割合が高く、学びの機会に参加した市民が多いことが指標値の高水準の維持に繋がっていると考えられます。特に健康・スポーツに関する割合が、3.1ポイント増加していることが要因と考えられます。</p>							目標達成度 ■ (中)	
指標	生涯学習の成果を地域や社会に生かしている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
②	生涯学習課			%	-	27.9	26.7	➔	☁ (横ばい)
	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								
評価	<p>(状況) 平成29年度は26.7%で、後期基準値より3.5ポイント、平成28年度より1.2ポイント減少していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。</p> <p>(原因) 年齢を問わず生涯学習で身につけた知識や技術を地域や社会のために生かす機会が少ないこと、また、特に社会において一定の地位を有していると思われる40代、50代層において、平均24.3%と全体平均を下回っており、こうした傾向が、指標値が伸び悩んでいる要因と考えられます。</p>							目標達成度 ■ (中)	

□基本事業の成果状況と評価

- 基本事業 01 学習機会の充実
- 基本事業 02 市民創造型生涯学習の推進
- 基本事業 03 芸術文化の振興
- 基本事業 04 生涯学習施設の運営
- 基本事業 05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

基本事業01 学習機会の充実

指標 ①	講座・教室メニュー数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い						
			生涯学習課	講座/年	77	195	288	90	
評 価	年間延べ人数です。								
	<p>(状況) 平成29年度は288講座で、後期基準値より211講座、平成28年度より93講座増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 施設利用者の意見やアイデアを反映した事業を企画するなど、生涯学習機会を増やす取組を行いました。特に図書館においては、専門的知識を活用しながら、利用者ニーズに合わせて積極的に講座を開催しており、平成29年度に61講座増加したことも大きな要因です。</p>								

基本事業01 学習機会の充実

指標 ②	生涯学習講座等の延べ受講者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い						
			生涯学習課	人/年	7,254	7,319	11,675	7,600	
評 価	年間延べ人数です。								
	<p>(状況) 平成29年度は11,675人で、後期基準値より4,421人、平成28年度より4,356人増加し、後期目標値を達成しました。 (原因) 平成28年度との比較では、特に中央公民館は276人、市立図書館が4,259人増加しています。市立図書館においては、時代に即応した講座やライフステージに応じた教室の開催や公民館の高齢者教育事業については、他の公民館と連携し、相互参加を行っており、こうした取組により、受講者の学習機会を創出していることが要因と考えられます。</p>								

基本事業01 学習機会の充実

指標 ③	学習機会が充足していると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
			生涯学習課	%	53.2	44.6	45	→	
評 価	年間延べ人数です。								
	<p>(状況) 平成29年度は45.0%で、平成28年度より0.4ポイント増加しているものの、後期基準値より8.2ポイント減少しています。 (原因) 講座メニューの多様化や新図書館開館により、今まで以上に学習の場の提供に繋がっており、平成27年度以降は徐々に向上していますが、後期基準値との比較では、指標値の向上に繋がっていません。30代から50代までの働き盛りの世代の数値が伸び悩んでおり、生活の忙しさから講座受講が困難な状況にあることが要因と考えられます。</p>								

基本事業02 市民創造型生涯学習の推進

指標 ①	市民主体の学習サークル数（社会教育登録団体）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い						
			生涯学習課	団体	184	211	212	200	
評 価	年間延べ人数です。								
	<p>(状況) 平成29年度は212団体で、後期基準値より28団体、平成28年度より1団体増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 団体登録者のほとんどが毎年度登録更新をしており、新規の団体も増加しています。サークル活動の活発化が要因と考えられます。</p>								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 市民創造型生涯学習の推進

指標 ②	市民主体の学習サークル登録者数（社会教育登録団体）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課						
					人	3,604	5,406	5,484	3,900	
評価	<p>(状況) 平成29年度は5,484人で、後期基準値より1,880人、平成28年度より78人増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成28年度の団体登録者のほとんどが登録更新したことや新規の団体の増加にみられるように、サークル活動が活発化していることが要因と考えられます。</p>								(向上) 目標達成度 (達成)	

基本事業03 芸術文化の振興

指標 ①	文化センター等での芸術文化の鑑賞者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課						
					人/年	76,812	75,778	134,274	85,000	
評価	<p>(状況) 平成29年度は134,274人で、後期基準値より57,462人、平成28年度より58,496人増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 主に市民会館では、利用件数の増加に伴い、鑑賞者数が57,663人増えています。各公民館において事業の拡大及び企画立案の改善を図ったことや、全国高等学校総合文化祭が開催されたことが要因と考えられます。</p>								(向上) 目標達成度 (達成)	

基本事業03 芸術文化の振興

指標 ②	芸術文化鑑賞をしている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課						
					%	—	55.6	56.7	→	
評価	<p>平成27年度から取得開始した指標です。 (状況) 平成29年度は56.7%で、平成27年度及び平成28年度より1.1ポイント増加しました。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲であり、横ばい状態です。 (原因) 主に芸術鑑賞している地域について、県内、県外も含めて、第1位が仙台市内、第2位が多賀城市内となっています。他の地域に比べて、芸術文化に触れる機会が多いことが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (中)	

基本事業04 生涯学習施設の運営

指標 ①	生涯学習施設の利用者数（図書館を除く）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課						
					人/年	260,467	261,976	337,873	355,000	
評価	<p>(状況) 平成29年度は337,873人で、平成28年度より75,897人増加し、後期基準値より77,406人増加しています。 (原因) 全国高等学校総合文化祭の開催などの一時的な増加要因もありますが、利用者ニーズを反映させ、利用促進に取り組んだことが、増加した要因と考えられます。</p>								(向上) 目標達成度 (中)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 生涯学習施設の運営

指標②	生涯学習施設運営・管理上の不具合・支障件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生涯学習課	件/年	0	0	4	0
評価	市民利用者と、人口から実図書貸出人数の割合を算出した数値								
	<p>(状況) 平成29年度は4件で、後期基準値及び平成28年度より4件増加しました。 (原因) 文化センター会議室エアコンや焼窯の故障により、設備の交換が生じたことが要因です。施設設備の経年劣化によるものと考えられます。</p>				目 標 達成度 ■■ (中)				

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標①	市立図書館の市民利用率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	%	10	19.2	17.2	50
評価	市民利用率とは、人口から実図書貸出人数の割合を算出した数値								
	<p>(状況) 平成29年度17.2%で、平成28年度より2.0ポイント減少したものの、後期基準値より7.2ポイント増加しました。 (原因) 開館時間の延長や365日開館などのサービス拡充により利便性が高まったことが、要因と考えられます。一方で、実質的な2年目を迎えた平成29年度は、貸出利用者がやや安定化してきた傾向があります。また、滞在型図書館であることから、蔵書の貸出を経ずに館内で閲覧している利用者も多くいるようです。</p>				目 標 達成度 ■■ (中)				

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標②	市立図書館の登録者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	24,835	61,270	70,886	40,000
評価	登録者数								
	<p>(状況) 平成29年度は70,886人で、後期基準値より46,051人、平成28年度より9,616人増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 仙石線多賀城駅前に移転し開館した図書館は、指定管理者による管理運営への移行とともに、開館時間の延長や365日開館などのサービス拡大に伴い、市内外問わず利用者が利用しやすい環境となったことが要因と考えられます。特に傾向としては、児童・生徒・一般・団体等の中でも、一般層が平成28年度より8,385人増加したことなどが大きな要因です。</p>				目 標 達成度 🏰 (達成)				

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標③	市立図書館の利用者満足度			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	生涯学習課	%	—	80.6	80.3	➡️
評価	利用者アンケートの結果(年2回 9月と3月)								
	<p>(状況) 平成29年度は80.3%で、平成28年度より0.3ポイント減少していますが、横ばいです。 (原因) 利用者アンケートを9月と3月に2回実施し、「大いに満足」及び「満足」が8割で高い水準を保っています。働く世代の利用率が高く、市民に次いで仙台近郊地からの利用者も多いことから、交通の利便性の良さ等も影響していることが要因と考えられます。</p>				目 標 達成度 🏰 (達成)				

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 04 市民スポーツ社会の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	多賀城市型の市民スポーツ社会が進展し、多くの市民がスポーツに親しんでいます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	週1回以上スポーツ・運動をしている市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	36.5	37.4	40.6	→
評価	(状況) 平成29年度は40.6%で、後期基準値より4.1ポイント、平成28年度より3.2ポイント増加しています。 (原因) スポーツ等の教室・大会数、スポーツ施設等の利用者数の指標が向上しています。特に地域の要望に応じて指導者を派遣する事業の依頼件数の増加が、大きく影響していることが要因と考えられます。								目標 達成度
									☑ (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 スポーツ機会の充実

基本事業 02 社会体育施設等の施設環境の充実

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標①	スポーツ等の教室・大会数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課						
	回/年	87	113	136	95					
評価	<p>(状況) 平成29年度は136回で、後期基準値より49回、平成28年度より23回増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 多賀城市民スポーツクラブでは、特に各地域の要望に応じて指導者を派遣する事業や、各小学校の協力を得て学校体育館で行う児童の体力・運動機能の向上事業を実施したこと、また新規事業として「健康・スポーツ相談室」を実施したことなどが、要因です。</p>					<p>(回/年)</p>				
						<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>				

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標②	スポーツイベント・教室に参加したことがある市民割合（この1年間）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課						
	%	—	15.2	16.4	→					
評価	<p>(状況) 平成29年度は16.4%で、平成28年度より1.2ポイント増加しましたが、平成27年度とは同数値で、横ばいです。 (原因) スポーツ教室・大会件数が増加していることや、リピーターとしての参加があることなどが要因と考えられます。新たな参加者を増やす工夫を図る取組や平均で約13%の参加となっている、特に20代から50代までの参加割合を増やす取組が必要となっています。</p>					<p>(%)</p>				
						<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(中)</p>				

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標③	スポーツ普及団体の登録会員数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課						
	人	3,898	3,682	3,539	4,900					
評価	<p>(状況) 平成29年度は3,539人で、後期基準値より359人、平成28年度より143人減少しています。 (原因) 多賀城市民スポーツクラブ会員及び体育協会会員数が減少傾向にあります。団体スポーツよりも個人スポーツに人気が集まり、クラブ等に属さないでスポーツを楽しむ傾向にあることが要因と考えられます。</p>					<p>(人)</p>				
						<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>				

基本事業02 社会体育施設等の施設環境の充実

指標①	スポーツ施設等の利用者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課						
	人/年	322,238	360,940	352,738	350,000					
評価	<p>(状況) 平成29年度は352,738人で、平成28年度より8,202人減少していますが、後期基準値より30,500人増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 中央公園が整備されたことによる利用者の増加が要因です。平成28年度との比較では減少していますが、これは学校施設開放事業において、多賀城八幡小学校体育館工事に伴い9か月間実施できなかったこと及び総合体育館の専用利用の減が主な要因です。</p>					<p>(人/年)</p>				
						<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 社会体育施設等の施設環境の充実

指標 ②	スポーツ施設等の運営・管理上の不具合・支障件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき															
	成果	業務取得	下がると良い	生涯学習課	件/年	0	0	2	0	(低下) 目 標 達 成 度 (低)														
評 価	<p>(状況) 平成29年度は2件で、後期基準値及び平成28年度より2件増加しました。 (原因) 施設設備の機能低下が生じている総合体育館トレーニング室エアコン及び市民プールの熱交換器について、運営に支障をきたす恐れがあることから、設備修繕を行ったものです。施設の老朽化や設備の経年劣化によるものと考えられます。</p>				<p>(件/年)</p> <table border="1"> <caption>実績値 (件/年)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (件/年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>0</td></tr> <tr><td>H31</td><td>0</td></tr> <tr><td>H32</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>				年度		実績値 (件/年)	H26	0	H27	0	H28	0	H29	2	H30	0	H31	0	H32
年度	実績値 (件/年)																							
H26	0																							
H27	0																							
H28	0																							
H29	2																							
H30	0																							
H31	0																							
H32	0																							

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 05 文化財の保護と活用

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内所在の文化財、市民	文化財が次の世代へ継承され、市民が市の歴史と文化に誇りを持っています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市の歴史と文化に誇りを感じる市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき																							
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	%	46.8	52.4	54	➔	☀ (向上)																						
評価	<p>(状況) 平成29年度は54.0%で、後期基準値より7.2ポイント、平成28年度より1.6ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 市民アンケートの結果、平成28年度よりやや増加し、平成26年度以降、緩やかな増加傾向にあると考えられます。平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたこと、平成29年度に多賀城廃寺跡などが東大寺展関連イベントの会場として使用されたことなどが要因と考えられます。</p>				<table border="1"> <caption>指標の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>46.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>52.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>52.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>54.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>-</td> <td>50.0</td> </tr> </tbody> </table>			年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H26	46.8	-	H27	52.4	-	H28	52.4	-	H29	54.0	-	H30	-	50.0	H31	-	50.0	H32	-	50.0	目標 達成度
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																														
H26	46.8	-																														
H27	52.4	-																														
H28	52.4	-																														
H29	54.0	-																														
H30	-	50.0																														
H31	-	50.0																														
H32	-	50.0																														
									■ (中)																							

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 文化財の調査・保存の推進

基本事業 02 文化財の積極的な活用促進

基本事業 03 文化財の普及啓発の推進

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標①	文化財保護法により適正に保護された件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	文化財課	件/年	175	223	209	—
評価	周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	<p>(状況) 平成29年度209件で、平成28年度より14件減少していますが、後期基準値より34件増加しています。</p> <p>(原因) 指標値として、周知の埋蔵文化財包蔵地の届出件数及び通知件数、特別史跡内における現状変更申請件数の合計としていますが、住宅建築や土木工事などの需要に伴い増減します。平成29年度は需要の減少が要因と考えられます。</p>			(件/年)	175	223	209	—	目標達成度

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標②	特別史跡の公有化率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	%	56.7	57.6	58	60
評価	<p>(状況) 平成29年度は58.0%で、平成28年度より0.4%ポイント増加し、後期基準値より1.3%ポイント増加していますが、横ばいです。</p> <p>(原因) 特別史跡指定面積が広大であり、平成26年度より一定の予算の範囲内で毎年度計画的に公有化を進めていることが要因です。</p>			(%)	56.7	57.6	58	60	目標達成度

基本事業02 文化財の積極的な活用促進

指標①	活用されている文化財の面積			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	m ²	287,842	307,898	309,538	303,000
評価	<p>(状況) 平成29年度は309,538m²で、平成28年度より1,640m²増加し、後期基準値より21,696m²増加していますが、横ばいです。</p> <p>(原因) 平成28年度に歴史的食文化体験学習事業に伴いそば及び古代米の体験学習地を計上したこと、平成29年度に中央公園整備事業に伴い整備地が増加したことが要因です。</p>			(m ²)	287,842	307,898	309,538	303,000	目標達成度

基本事業02 文化財の積極的な活用促進

指標②	市内所在の文化財訪問者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	人/年	132,031	129,888	144,577	140,000
評価	<p>(状況) 平成29年度は144,577人で、平成28年度より14,689人増加し、後期基準値より12,546人増加しており、向上しています。</p> <p>(原因) 多賀城跡あやめまつりの入込数が増加傾向にあることや平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたことによるPR効果などに加え、平成29年度に多賀城跡寺跡などが東大寺展開連イベントの会場として使用されたことなどが要因と考えられます。</p>			(人/年)	132,031	129,888	144,577	140,000	目標達成度

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標 ①	市内所在文化財の平均認知項目数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき	
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	6	7.05	7.17	→	
評 価	(状況)平成29年度は7.17項目で、平成28年度より0.12項目増加し、後期基準値より1.17項目増加していますが、横ばいです。 (原因)平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたことによるPR効果などに加え、平成29年度に多賀城廃寺跡などが東大寺展関連イベントの会場として使用されたことなどが要因と考えられます。一方で多賀城跡、多賀城廃寺跡、多賀城碑など知名度の高い所の認知項目数は多いものの、知名度が低い所の認知項目数が伸びていないことが向上に繋がっていない要因と考えられます。			(項目)						(横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標 ②	市内所在文化財の平均訪問項目数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき	
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	4.2	5.38	5.45	→	
評 価	(状況)平成29年度は5.45項目で、平成28年度より0.07項目増加し、後期基準値より1.25項目増加していますが、横ばいです。 (原因)平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたことによるPR効果などに加え、平成29年度に多賀城廃寺跡などが東大寺展関連イベントの会場として使用されたことなどが要因と考えられます。一方で多賀城跡、多賀城廃寺跡、多賀城碑など知名度の高い所の訪問項目数は多いものの、知名度が低い所の訪問項目数が伸びていないことが向上に繋がっていない要因と考えられます。			(項目)						(横ばい) 目標達成度 ■■■ (低)

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標 ③	市内文化財への情報アクセス数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	件/年	116,000	143,885	190,279	120,000	
評 価	(状況)平成29年度は190,279件で、平成28年度より46,394件増加し、後期基準値より74,279件増加しており、向上しています。 (原因)平成26年以降に歴なび多賀城のダウンロード数が順調に増加していること、平成29年度に東大寺展関連イベントの開催等に伴い市ホームページを適時更新していることなどが要因と考えられます。			(件/年)						(向上) 目標達成度 ■■■ (達成)

政策4

環境を大切にすることを育むまち

＜環境分野＞

政策 04 環境を大切にすることを育むまち

施策 01 環境との共生

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、事業者、行政	市民、事業者、行政が地球環境に優しい取組を行い、市内の自然環境が守られています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	地球環境に優しい取組のうち主要対策に取り組んでいる市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生活環境課	%	52	59.1	60.1	→
評価	<p>(状況) 平成29年度は60.1%で、後期基準値8.1ポイント、平成28年度より1.0ポイント増加しています。 (原因) 主要項目のうち「節電」「ごみの減量・分別・適正処理・リサイクルを行っている」「不要な包装を断っている」「節水をしている」の割合が60%を超えており、浸透していると考えられます。 一方で、「冷暖房の温度設定」「エコ製品・省エネ製品の購入」については60%未満となっており、実績値が伸びない要因となっています。</p>								目標 達成度
					☀ (達成)				

指標 ②	市内の自然環境が適切に保全されていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生活環境課	%	77.7	80.2	79	→
評価	<p>(状況) 平成29年度は79.0%で、平成28年度より1.2ポイント減少していますが、後期基準値より1.3ポイント増加しています。 (原因) 市内には、森林や田畑が多いことから自然環境が適切に保全されていると思う市民割合が高くなっている要因と考えられます。</p>								目標 達成度
					☀ (達成)				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 環境教育の推進

基本事業 02 行政における環境保全の取組推進

基本事業01 環境教育の推進

指標 ①	市が開催した地球温暖化防止に向けた取組や環境事業の参加者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生活環境課	人/年	231	1,666	1,827	1,715
評価	(状況) 平成29年度は1,827人で、後期基準値より1,596人、平成28年度より161人増加し、後期目標値を上回りました。 (原因) 地域や小学生などを対象とした環境出前講座の開催や各環境教育事業について、積極的に普及啓発活動を行ったことが要因の1つと考えられます。				(向上) 目標達成度 (達成)				

基本事業02 行政における環境保全の取組推進

指標 ①	市役所及び出先機関の温室効果ガス排出量			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	t/年	2,240	2,482	2,523	2,235
評価	平成28年度に対象施設数が増加しています。 (状況) 平成29年度は2,523tで、後期基準値より283t、平成28年度より41t増加しています。 (原因) 平成28年度に増加した要因は市立図書館の移転開館や、子育てサポートセンター移転開設等、公共施設の規模拡大によるものと考えられます。 平成29年度は市役所本庁舎や文化センター等での使用量の増加が要因と考えられます。				(低下) 目標達成度 (低)				

政策 04 環境を大切にすることを育むまち

施策 02 生活環境の保全

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、事業者	快適な生活環境が守られています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	快適な生活環境になっていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生活環境課	%	58.2	60.8	59.9	→
評価	<p>(状況) 平成29年度は59.9%で、平成28年度より0.9ポイント減少したものの、後期基準値より1.7ポイント増加しています。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。</p> <p>(原因) 平成28年度と同様、騒音、犬猫の管理、ごみ集積所の管理についての不満意見が多く見受けられますが、騒音、ごみ集積所の管理については、平成28年度よりも約5ポイント減少しています。不法投棄に関する意見が平成28年度から4.6ポイント増加しており、適正処理理解促進のための意識啓発や不法投棄防止対策が課題となっています。</p>							目標 達成度	
									👑 (達成)

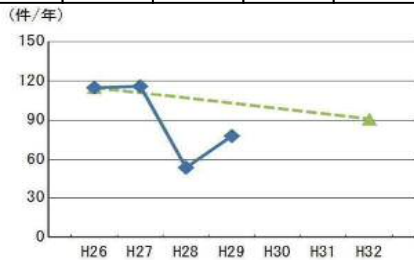
□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 生活公害等の抑制

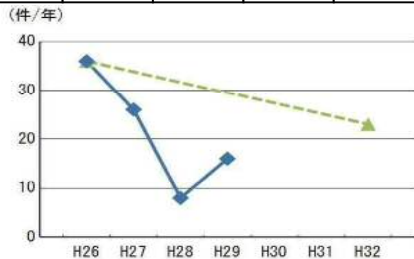
基本事業 02 水質環境の向上

基本事業 03 空き地・空き家対策の推進

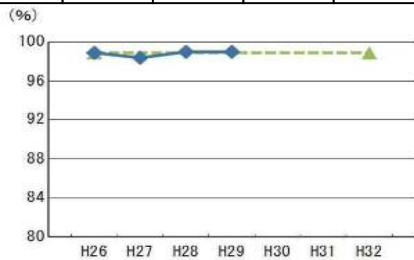
基本事業01 生活公害等の抑制

指標①	生活公害苦情件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	件/年	115	54	78	91
評価	(状況) 平成29年度は78件で、平成28年度より24件増加しましたが、後期基準値より37件減少しており、後期目標値は達成しています。 (原因) 例年同様に、空地や隣家の樹木・雑草繁茂に対する苦情が58件あり、苦情の多数を占めていますが、管理者や地権者に対し、繰り返し適正な管理を求めていることが、要因と考えられます。								

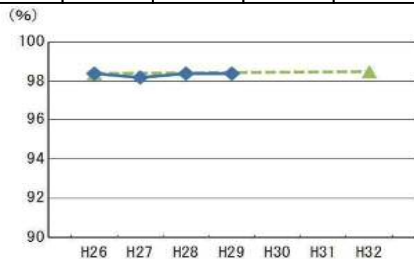
基本事業01 生活公害等の抑制

指標②	事業者・事業所に関する苦情件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	件/年	36	8	16	23
評価	(状況) 平成29年度は16件で、平成28年度より8件増加しましたが、後期基準値より20件減少し、後期目標値は達成しています。 (原因) 事業所に対し、適正な管理を要請し続けてきたことが、要因と考えられます。								

基本事業02 水質環境の向上

指標①	河川の水質基準の達成割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生活環境課	%	98.9	99	99	→
評価	(状況) 平成29年度は99%で、平成28年度から変化はなく、後期基準値より0.1ポイント増加しており、順調と考えられます。 (原因) 毎月、市と県で砂押川3か所と貞山運河1か所の4か所で4検体ずつ(年間192項目)調査しました。震災後は、津波により一時的に河川の水質が悪化したものの、時間の経過等に伴い水質悪化を招く要素が改善されたことが要因と考えられます。								

基本事業02 水質環境の向上

指標②	生活排水人口処理率(水洗化率) (浄化槽+公共下水道)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	下水道課	%	98.4	98.4	98.4	98.5
評価	(状況) 平成29年度は98.4%で、後期基準値とほぼ同値で推移しています。 (原因) 市内の汚水管渠整備は概成していることから、大幅なポイント増加は望めないものの、市ホームページ等を通じて水洗化の普及に努めており、平成29年度では1世帯が汲み取り便所から下水道に接続しました。水洗化には費用(工事費等)が発生することから、利子補給制度を設けて自己負担の軽減に努めていますが、所有者は家屋の築年数等を考慮し、現状に留まっていることが要因と考えられます。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 空き地・空き家対策の推進

指標 ①	適正に管理されていない空き家の件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	件	—	—	32	➡
評 価	(状況)「空家対策の推進に関する特別措置法」に基づく空家等対策計画を平成29年度に策定しました。空家等対策を推進していきます。								目 標 達 成 度
				—					

政策 04 環境を大切にすることを育むまち

施策 03 資源循環型社会の形成

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、事業者	ごみの減量と再資源化が進み、ごみ処理が適正に行われています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市民1人当たり年間最終処分量（家庭ごみ）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	kg/年	51	48	49	48
評価	(状況) 平成29年度は49kgで、平成28年度から1kg増加しているものの、後期基準値より2kg減少しています。 (原因) 分別・リサイクル等の環境出前講座・広報多賀城等での啓発により、市民一人ひとりのごみ分別や減量に対する意識が向上してきたことが、要因と考えられます。								目標 達成度
					■ (高)				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 ごみ排出量の減量

基本事業 02 再資源化の推進

基本事業01 ごみ排出量の減量

指標①	市民1人当たり年間可燃ごみ排出量（家庭ごみ）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	kg/年	199	189	189	196	(向上)
評価	生活環境課				(状況) 平成29年度は189kgで、平成28年度から増減はありませんが、後期基準値より10kg減少しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成29年度における可燃ごみ(家庭ごみ)の年間排出総量は、平成28年度より約25t減少しており、環境出前講座・広報多賀城等での分別・リサイクル等の啓発により、市民一人ひとりのごみ分別や減量に対する意識が向上してきたことが要因と考えられます。	目標達成度	(達成)		
						目	(達成)		

基本事業01 ごみ排出量の減量

指標②	事業系ごみの年間排出量			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	t/年	6,044	6,285	6,317	5,510	(低下)
評価	生活環境課				(状況) 平成29年度は6,317tで、後期基準値より273t、平成28年度より約32t増加しており、震災後の増加傾向が継続しています。 (原因) 震災後市内の復興に伴う事業活動の活発化が、要因と考えられます。事業系ごみの増加量(前年比)は、平成28年度が約467tでしたが、平成29年度は約32tにとどまっており、更なる増加とならないよう努めています。	目標達成度	(中)		
						目	(中)		

基本事業02 再資源化の推進

指標①	資源化量・資源回収量			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	t/年	6,409	5,821	5,346	7,483	(低下)
評価	生活環境課				(状況) 平成29年度は5,346tで、後期基準値より1,063t、平成28年度より475t減少しています。 (原因) 家庭から排出された資源物量、店頭回収量及び許可業者等による独自ルートでの資源化量、集団資源回収量はいずれも減少傾向にあります。スマートフォン等の情報ツールの普及に伴う新聞・雑誌等のペーパーレス化、製造業者等による過剰包装削減や容器包装の軽量化等、複合的な要因によるものと考えられ、国や県においても減少傾向が見られます。	目標達成度	(低)		
						目	(低)		

基本事業02 再資源化の推進

指標②	リサイクル率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	%	25.4	23.6	22.1	29	(低下)
評価	生活環境課				(状況) 平成29年度は22.1%で、後期基準値より3.3%ポイント、平成28年度より1.5%ポイント減少しています。また、県平均はおおよそ16%、全国平均はおおよそ20%で例年推移しています。 (原因) 新聞・雑誌等のペーパーレス化、過剰包装の削減や容器包装の軽量化等が要因として考えられる資源化量・資源回収量の減少に付随するカタチで、リサイクル率も減少傾向となっていると考えられ、国や県においても同様の傾向が見られます。	目標達成度	(低)		
						目	(低)		

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 再資源化の推進

指標 ③	プラスチック容器包装不適合率（分別不適合率）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生活環境課	%	14.9	14.7	15.8	14
評 価	<p>(状況) 平成29年度は15.8%で、後期基準値より0.9ポイント、平成28年度より1.1ポイント増加しています。 (原因) 震災以降、環境出前講座等により周知啓発を図ったことで、震災前と同程度の数値まで下がってきていますが、平成25年度以降は、ほぼ一定の増減を繰り返して推移しています。</p>								 (横ばい)
				目標達成度	■■ (中)				

基本事業02 再資源化の推進

指標 ④	分別・リサイクルに取り組んでいる市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生活環境課	%	76.7	76.7	78	→
評 価	<p>(状況) 平成29年度は78.0%で、後期基準値より1.3ポイント、平成28年度より1.3ポイント増加し、ほぼ横ばいで推移しています。 (原因) 日常のごみ収集における分別排出の周知や、民間事業者等が提供するリサイクルツールの増加によるものと考えられます。</p>								 (横ばい)
				目標達成度	■■■ (高)				